

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和5年12月13日(水) 第5校時
3年 生徒数 13名

1 単元構想図

単元名	自分の生き方と津野町の未来を考える	全 70 時間
小単元 3	「自分の未来を描き、津野町を語る」(個人探究)	全 9 時間

単元で付けたい力

○これまでの総合的な学習の時間で探究してきた内容、育成してきた力を活用して、津野町について自分の言葉で語るができる力。

◆学習の流れ

きっかけ

2年生2学期には、津野山古式神楽の楽を演奏し、3年生の舞と合わせて神楽に取り組むことを通して、「津野山古式神楽は人と人をつなぐ伝統文化である。見ている人を楽しませるような演奏をしたい。」「楽を通して神楽をこれまでよりも身近に感じるようになった。」という思いをもって取り組んだ。保存会の方から直接楽を指導していただいたり、保存会の方が高野地区の神社で神楽を奉納するのを見学した際、保存会の方々の舞の中で楽を体験させていただいたりした。1年生の時より、保存会の方々との関わりが多くあった。保存会の方々がご自身の仕事に都合をつけながら学校に指導に来てくださる姿を目の当たりにし、改めて自分達の身の回りには、様々な仕事があり、その上で自分達の生活が支えられていることを感じた。その中で身の回りにある職業に携わる方々に興味を持ち、「働くことの意味とはどのようなものだろうか?」「人の役に立てるとはどんなことだろうか?」「大変な仕事が続けられるのはなぜだろうか?」「その職業の魅力はなんだろうか?」といった様々な思いをもった。そこで、地域で働く方々への聞き取りや、職場体験をさせていただく中で課題を解決するための情報を収集し、地域で働く人々の思いに触れることができると考えたことがきっかけである。

◆意識の流れ

- ・神楽の楽を学んだことで、神楽をより身近に感じるようになった。
- ・神楽奉納を見学したときに、自分の今までの神楽の見方が変わっていることに気づいた。以前の自分よりも楽しめるようになった。
- ・保存会の方々はお仕事がある中、時間を作って自分達に神楽を教えに来てくれていたな。
- ・神楽奉納を見学させてもらった時に、いらっしゃった保存会の方々も普段はお仕事をされていたな。
- ・保存会の方々や、お家の人、自分達の周りの人はいろんな職業について働いている。
- ・自分たちの生活は、様々な職業の方に支えられていることは、小学校の頃の川の学習や農業についての学習でも学んでいたけど、地域で働いている方々はどのような思いをもって働いているのかももう少し詳しく学びたいな。

小单元 1

「なぜ人は働くのか」 (30 時間)

第 1 次 課題の設定 (2 時間)

○これまでの総合的な学習の時間にお世話になった方々が仕事についていることを思い出し、なぜ人は働くのか、働く意味に焦点を当てられるような課題を設定する。

- ◆働く意味についてのマッピングを行い、今の自分の考えを確認させる。
- ◆実際に働いている方に質問したいことをグループでランキング化し、仕事のやりがいなどは質問するだけでなく体験してみないとわからないことに気付かせる。

第 2 次 情報の収集 (18 時間)

○職場体験で実際に仕事を体験したり、インタビューしたりして、働く意味に関する情報を収集する。

- ◆職場体験先の方にインタビューして分かったこと、また、実際に自分が感じた大変さ、おもしろさも情報の一つであることに気付かせる。

第 3 次 整理・分析 (8 時間)

○職場体験の感想、振り返りをグループで共有し、違う職場で共通していることなどを整理して、働く意味を分析する。

- ◆思考ツールなどを用いて整理・分析し、働く意味には、自分自身と関係する意見と、人のためや未来のためという意見があることに気付かせたい。
- ◆働くために必要な力にも気付かせたい。

第 4 次 まとめ・表現 (2 時間)

○地域の方がどのような思いで仕事をしているのか。また、実際に仕事を体験し自分がどう感じたのかをまとめる。

- ◆職場体験先の方々にも自分たちの学習が伝わるように、まとめ方を考えさせる。

○保存会の方たちの仕事の情報を聞く。

- ・私たちの周りで働いている人たちはなんのために働いているのかな。
- ・どうして仕事を続けられるのかな。
- ・その仕事によって周りにはどんな影響があるんだろう。
- ・自分達で考えたら「お金や趣味のため」という意見が多かったけど、それだけかな。
- ・仕事のやりがいは、実際に体験してみないとわからないよな。

- ・仕事ってすごく大変だな。部活動より疲れた。
- ・農協の仕事は、農業をやっている方たちと深く結びついているな。
- ・上手にできるようになるとうれしいな。
- ・実際に体験することで得られるものはとても多いな。

- ・インタビューの中で「地域の未来のため」と答えてくれた人がいた。
- ・「人のため」というのは、目の前の人のことだけではなくもっと広い視野で考えられるようになった。
- ・職場体験を経て目の前にいる人だけじゃなくもっと広い視野で考えられるようになった。
- ・相手に応じて関わり方を変えることが大切だと感じた意見が多かった。
- ・自分たちの学習を職場体験先の方にも伝えたいな。

- ・この単元で学んだことを新聞にまとめよう。
- ・働くことは人生を豊かにすることが分かった。
- ・仕事の大変さ、楽しさを身をもって知ることができた。
- ・保存会の方たちは仕事が終わった後で神楽の練習をしているのか。

小单元 2

「私にとって、津野山古式神楽とは」 (31 時間)

第 1 次 課題の設定 (3 時間)

- 小学校から学習している「津野山古式神楽」に対する自分の思いの変容に気づくことができるような課題を設定する。
- 舞う前の神楽に対する思いをマッピング①する。
- ◆年表を確認し、改めて 1100 年の歴史の重みを実感させる。

第 2 次 情報の収集 (24 時間)

- 保存会の方から舞を習うことを通して、情報の収集を行う。
- 舞を覚えたときの神楽に対する思いをマッピング②する。
- 地域の奉納見学に来た人の神楽に対する思いをインタビューする。
- 神楽発表会の後に、実際に神楽を舞った感想を書く。
- 神楽に対する自分の思いをマッピング③する。
- ◆改めて、津野山古式神楽に対する保存会の方たちの思いに触れさせる。また、神楽発表会のアンケートから、来場された方たちの神楽に対する思いも知ったうえで、感想を記述させる。

第 3 次 整理・分析 (2 時間)

- 3 年間分の津野山古式神楽発表会の感想を比較しながら、神楽に対する思いの変容を分析する。
- ◆3 年間変わらなかった思い、3 年間の中で変容してきた思いについて、思考ツールなどを用いて分析させる。
- ◆言葉は変わっていても、込められた思いが変容している場合も考えられるので、思いを言葉にさせる。

第 4 次 まとめ・表現 (2 時間)

- 分析した津野山古式神楽に対する思いの変容を自分の言葉でまとめる。
- ◆思いの変容が見てわかりやすいように、まとめ方を考えさせる。

- ・仕事だけでも大変なのに、保存会の活動を続けているのはどうしてなんだろう。
- ・保存会の方たちにとって、神楽ってどんな存在なんだろう。
- ・直接保存会の人に聞きたいな。
- ・私にとって神楽とは…。

- ・舞に込められた思いを伝えるためには、どういった所作が大切なのかな。
- ・保存会の人たちにとっての神楽、町に住む人にとっての神楽、町を離れた人にとっての神楽、そして自分達にとっての神楽、それぞれの思いを知ったうえで舞いたい。
- ・神楽発表会に来場された人たちは、自分達の舞をどういう風と感じたのだろう。
- ・自分の神楽に対する思いは、昨年とはちょっと違うな。

- ・3 年間変わらなかった思いもあるな。
- ・今の自分は、昨年よりも神楽を未来に残していきたいと思っている。
- ・神楽をもっと広めたいな。
- ・これまでずっと神楽は津野町の誇りだと思っていたけど、今はその言葉の重みが違うな。
- ・神楽に対する今の思いをまとめよう。

- ・神楽に対する自分の思いをまとめることができたぞ。
- ・津野山古式神楽のことがもっと好きになった。
- ・いろんなことを知るたびに、思いは変わっていくものなんだな。
- ・卒業後は津野町外にある高校に通うけど、地元のことを聞かれたらなんて答えるかな。
- ・高校卒業後、県外に出たら…。

小单元 3

「自分の未来を描き、津野町を語る」 (9時間)
(個人探究)

第1次 課題の設定 (1時間)

○津野町を自分の言葉で語るができるような課題を設定する。

◆これまでの総合的な学習の時間で探究してきた内容を想起させ、地域の方たち、自分の思いを再確認し、学習の見通しをもたせる。

第2次 情報の収集 (2時間)

○これまでの学習で得た情報を思い出すとともに、地域の方の津野町に対する思い、情報を更に収集する。

◆これまでに得た情報を可視化させることを意識する。
◆自分が得たい情報をもっていきそうな人にインタビューをさせてもよい。

第3次 整理・分析 (3時間)

○集めた情報を整理・分析し、津野町について自分が語りたことを決める。

◆自分が語りたことの優先順位が見てわかるように、思考ツールを各自で選ばせ、整理・分析させる。
(グラフやランキング、ピラミッドチャート等)

第4次 まとめ・表現 (3時間)

○津野町に対する自分の思いを、自分の言葉でまとめる。

◆これまでの学習では、伝統に関わる人の思いに偏ってしまうことが多かった。ここでは必ず主語が「自分」になるように意識させ取り組ませる。

- ・これまでの総合的な学習の時間では、どんなことを探究してきたっけ？
- ・小学校では、川や農業について学習したな。
- ・中学校で一番印象に残っているのはやっぱり神楽かな。
- ・自分だったら津野町をどう語るかな。
- ・家族は津野町のことをどう語るんだろう？どこが好きなのかな？

- ・小学校の川の学習では、〇〇さんに北川川のアユが日本一になったことを教えてもらったな。
- ・3年間の神楽学習を通して、自分も神楽を継承したいと思った。
- ・家族は本当に東津野のことが好きなんだな。
- ・私は津野町の自然と食文化について語ろうかな？やっぱり神楽かな？

- ・私は田舎寿司をメインにして食のことに語りたいな。
- ・私は津野町の自然が好きだから自然をメインにして、神楽についても語ろうかな。
- ・どういう風にまとめたら、自分の思いがより伝わるかな。

- ・自分は津野町のことをこんなに大好きだったんだ。
- ・これからの自分にできることは何かな。
- ・10年後 20年後、どんな津野町になるのだろう。
- ・津野町に住んでいるとしたら…。
- ・津野町に住んでいないとしたら…。
- ・津野山古式神楽だけではなくなくて欲しくない。

2 単元について

○単元観

これまでの総合的な学習の時間で、小学校では、北川川、津野町の稲作、農業について探究し、中学校では、津野町の伝統文化や産業について探究をしている。

本単元は、小学校の生活科から始まり、9年間積み上げてきた総合的な学習の時間の最後のまとめの単元であり、津野町と自分をつなげ、津野町を自分の言葉で語れるようになることをねらいとしている。これまでの学習の中でかかわってきた地域の方々の思いや、探究する際に得た仲間の考えを吸収し、改めて家族等にインタビューし、情報を収集することを通して、津野町に対する自分の思いを認識し、自分の言葉で語れるようになってほしい。

また、これまでの学習ではグループで探究することが多かった。本単元では、これまでの学習で身に付け、培ってきた資質・能力を活用して、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の学習を個人で進めさせる。将来、津野町に残って生活をするのか他の地域に出ていくのかはわからないが、卒業後もずっと津野町に誇りをもって生きていってほしいと思い、この単元を構成した。

○生徒観

本学年の生徒は、全体的に学習意欲が高く仲間同士で協働しながら学ぶことができる。その一方で、自分の意見を言うことに苦手意識のある生徒や、「間違いたくない」「分らないことが言いにくい」というような実態がある。この学習を通して、「自分たちで考えて解決できた」といった学びの有用感を得ることを1つの目標にしていきたい。

下表は、昨年度後半と今年度前半に行った意識調査の結果である。項目6は+50ポイント、項目10は+33.4ポイントと探究的な学習を続けてきた成果が見られる。

【2年生 1月】

	項目内容	肯定%
1	津野町が好きだ。	100.0%
2	総合的な学習の時間は好きだ。	83.3%
3	地域社会の一員として、自分にできることはないか考えたことがある。	75.0%
4	自分は、地域社会から認められていると思うことがある。	41.7%
5	総合的な学習の時間では、他の教科で学習したことを生かしている。	75.0%
6	相手や目的に合わせ、自分の考えを根拠を明確にして表現することができる。	33.3%
7	友達と話し合うことで、自分にはない考えに気づいたり、自分の考えを深めたりすることができる。	91.7%
8	総合的な学習の時間で学んだことは、自分の生活や将来に役立つと思う。	83.3%
9	社会人になっても、津野町や高知県で仕事をしたり生活をしたりして、地域に貢献したいと思う。	83.3%
10	学校外の人とのかかわりを通して、自分の考え方が広がったり、その後の自分の生き方を考えるきっかけになったことがある。	58.3%

【3年生 5月】

	項目内容	肯定%
1	津野町が好きだ。	100.0%
2	総合的な学習の時間は好きだ。	91.7%
3	地域社会の一員として、自分にできることはないか考えたことがある。	91.7%
4	自分は、地域社会から認められていると思うことがある。	58.3%
5	総合的な学習の時間では、他の教科で学習したことを生かしている。	100.0%
6	相手や目的に合わせ、自分の考えを根拠を明確にして表現することができる。	83.3%
7	友達と話し合うことで、自分にはない考えに気づいたり、自分の考えを深めたりすることができる。	100.0%
8	総合的な学習の時間で学んだことは、自分の生活や将来に役立つと思う。	100.0%
9	社会人になっても、津野町や高知県で仕事をしたり生活をしたりして、地域に貢献したいと思う。	91.7%
10	学校外の人とのかかわりを通して、自分の考え方が広がったり、その後の自分の生き方を考えるきっかけになったことがある。	91.7%

○指導観

本校では、中学3年間で地域の伝統文化である「津野山古式神楽」を系統的に学ぶ機会を設定している。本単元の探究課題は「自分の未来を描き、津野町を語る」であり、今年度は13名の生徒が7演目の舞を選択し、津野山古式神楽保存会の方に指導をしていただく。「神事」である「津野山古式神楽」の舞の練習では、昔から受け継がれてきたやり方と同じ「手取り足取り」の指導を受け、神歌も唱歌で教えていただく。本来であれば、1演目舞うのに20～30分かかかるが、中学生は、1演目10分程度に省略したものを教わっている。生徒たちは、保存会の方から舞の技能や表現を手取り足取り教わったり、疑問に思うことを聞いたりすることを通して、「津野山古式神楽」に対する思いをさらに深めていくと思われる。

また、生徒たちは「津野山古式神楽」を中心に、津野町の食文化や他地域との比較、地域の職業について学習を深めている。学習を積み重ねてきたことで、津野町の伝統文化等を伝承している一人として「津野町に対する思い」がさらに強くなってきたと思われる。地域では、人口減少や少子高齢化によって今後の伝統文化等の伝承には課題が見られるのが現状である。しかし、秋のお神祭では、津野町を離れて生活している人々も帰省をして神楽を楽しんだり、皿鉢料理を囲んだりする姿がある。赤ちゃんが生まれると地元の人々はもちろんのこと、町外で生活している人も初参りに神楽奉納に訪れるなど、人と人がつながり賑やかになり、その土地に生きる人々の思いが強く感じられる。

本校の研究主題は「課題を自分事として捉え、相手に伝わるように自分の意見が言える授業の研究」である。主題の実現に向けて、最高学年の3年生では、小学校から続く9年間のスパイラルで継続して取り組んできた津野町の伝統文化や産業に関する学びから、仲間同士で津野町に対する思いを高め、津野町と自分をつなげ考えさせたい。津野町を自分の将来と重ねて、自分の言葉で語ることを最終ゴールとしている。

3 単元の目標

9年間の探究的な学習を通して、津野町を大切に思う気持ちは、地域内外の様々な人と関わりながら探究的な学びを続けてきた成果であることを理解し、津野町の魅力を再度整理するとともに、津野町と自分をつなげて考え、自分の言葉で語るができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①津野町の伝統文化や産業にかかわる人々の思いや願い、現状や課題について理解している。(知識)	①課題に対する解決の方法や手順を見通しをもって考えている。(課題の設定)	①これまでの総合的な学習の時間でかかわってきた人々の思いや仲間の意見などを受け入れ尊重しながら自分を見つめ直し、学び合おうとしている。(自己理解・他者理解)
②津野町に対する自分の思いや考え、自分の言葉で語るための探究の過程に応じた技能を身に付けている。(技能)	②津野町の魅力に関する情報を改めて収集し、更に地域の人々の意見を聞いたりして津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集、取捨選択している。(情報の収集)	②津野町の伝統文化や産業にかかわる様々な人々や仲間と協働し、進んで取り組もうとしている。(主体性・協働性)
③津野町のことを語り、津野町のことを好きだという気持ちは、伝統文化を伝承している人々や産業に関係する人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。(探究的な学習のよさの理解)	③津野町の魅力を整理するとともに、自分の言葉で語るために必要な、多様な情報を分析している。(整理・分析)	③津野町について考える中で、地域にとって必要なことと自分たちにできることを考え、自分の生き方やふるさつについて、自分の言葉で語ろうとしている。(将来展望・社会参画)
	④視点を明確にして、津野町について自分の言葉で語るができている。(まとめ・表現)	

5 指導と評価の計画（全9時間 本時4/9）

次	時	ねらい（○）と学習活動（・）	評価の重点			学習活動における具体的な 評価基準と評価方法【 】
			知	思	主	
課題の設定	1	<p>○津野町を自分の言葉で語るができるような課題を設定することができる。 【私なら津野町をどう語る？】</p> <p>・課題を設定する。</p> <p>○本単元の学習の見通しをもつことができる。 ・本単元のゴールイメージを確認する。</p>		①		<p>課題に対する解決の方法や手順を見通しをもって考えている。（課題の設定）</p> <p>【発言・行動観察】</p>
	2 3	<p>○津野町の魅力とそこにかかわる方たちの思いを再確認することができる。 ・これまでの総合的な学習の時間で探究してきた内容（津野町の伝統文化や産業、自然に関することやそれにかかわる方たちの思い等）を確認する。</p> <p>○津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集することができる。 ・津野町を語るうえで必要な情報を付箋やロイロノートに書き出す。</p> <p>○津野町を自分の言葉で語るために、更に必要な情報を収集することができる。 ・津野町の魅力について、保護者等にインタビューをして更に情報を収集する。</p>	①		②	<p>津野町の伝統文化や産業にかかわる人々の思いや願い、現状や課題について理解している。（知識）</p> <p>【発言・ワークシート】</p> <p>津野町の魅力に関する情報を改めて収集し、更に地域の人々の意見を聞いたりして津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集、取捨選択している。（情報の収集）</p> <p>【発言・ワークシート】</p> <p>これまでの総合的な学習の時間でかかわってきた人々の思いや仲間の意見などを受け入れ尊重しながら自分を見つめ直し、学び合おうとしている。（自己理解・他者理解）</p> <p>【発言・行動観察】</p>
整理・分析	4 (本時)	<p>○津野町の魅力を整理し、どのような内容で津野町を語りたいのか思考ツールを使って分析することができる。 (ピラミッドチャートやフィッシュボーン等)</p>	②	③		<p>津野町に対する自分の思いや考え、自分の言葉で語るための探究の過程に応じた技能を身に付けている。（技能）</p> <p>【ワークシート】</p>
	5	<p>○自分の語りたい内容について、5W1Hの視点で具体例も示せるようにする。 ・津野町を自分の言葉で語るために、津野町の魅力を整理する。</p>			②	<p>津野町の魅力を整理するとともに、自分の言葉で語るために必要な、多様な情報を分析している。（整理・分析）</p> <p>【発言・ワークシート】</p> <p>津野町の伝統文化や産業にかかわる様々な人々や仲間と協働し、進んで取り組もうとしている。（主体性・協働性）</p> <p>【発言・行動観察】</p>

まとめ・表現	6 ～ 9	<p>○これまで津野町について探究し、整理・分析してきた内容を自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>・津野町について、自分の言葉でまとめる。</p> <p>○津野町を自分の言葉で語るができる。</p> <p>・TSUNOYAMA project 発表会で津野町を自分の言葉で語る。</p>	③	④	<p>津野町のことを語り、津野町のことを好きだという気持ちは、伝統文化を伝承している人々や産業に関係する人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。(探究的な学習のよさの理解)</p> <p>【発言・まとめ】</p> <p>視点を明確にして、津野町について自分の言葉で語るができている。(まとめ・表現)</p> <p>【発言・まとめ】</p> <p>津野町について考える中で、地域にとって必要なことと自分たちにできることを考え、自分の生き方やふるさについて、自分の言葉で語ろうとしている。(将来展望・社会参画)</p> <p>【発言】</p>
					③

6 本時の指導（4/9）

本時の目標	これまで集めてきた情報を、思考ツールを使って整理し、津野町を自分の言葉で語るための内容を分析することができる。	
本時の評価規準	津野町の魅力を整理するとともに、自分の言葉で語るために必要な、多様な情報を分析している。【発言・ワークシート】	
準備物	iPad、付箋	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	○指導上の留意点 ◇評価規準【評価方法】
※個人探究の単元なので、情報の収集、整理・分析を行ったり来たりしながら学習を進めています。		
1. 前時までの学習を振り返る。 集めた津野町の魅力を確認する。	・津野町の魅力はたくさんあるから、整理しないとイケないな。	
2. 個人で設定した本時の課題を確認する。	・今日はたくさんある情報を整理する時間にしよう。	
自分が語りたいことをこれまでの学習の中から選んで整理し、分析する。(例)		
3. 個人で思考ツールを使って、津野町の魅力を整理・分析する。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に合わせて思考ツールを選んで整理しよう。 ・私は伝えたい津野町の魅力をランキング化してみよう。 ・フィッシュボーンを使って、津野町の魅力を整理しようかな。 ・他の人はどうやって整理・分析しているんだろう。 ・私が本当に語りたいことが何か分析しよう。 ・津野町の魅力を整理・分析することができた。もう少し情報が欲しいから、今日、家族に聞いてみよう。 ・自分が語りたい内容を分析したら、一番に出てきたのはやっぱり神楽だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇津野町の魅力を整理するとともに、自分の言葉で語るために必要な、多様な情報を分析している。【発言・ワークシート】 ○これまでの学習でかかわってきた方々の思いにも着目させる。 ○教師は行き詰っている生徒の考えを整理させるような声掛けを行う。例えば、効果的な思考ツールを示す。
4. 本時の振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が語りたい内容を分析したら、一番に出てきたのはやっぱり神楽だった。 	
5. 次時の課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日で整理が終わったから、次の時間は分析に入ろう。 ・今日で整理・分析が終わったからまとめをやろう。 	